



### 行政の効率化と健全財政の維持について 等々力 等 議員

行政の効率化について

**Q** 市長は効率運用のためには分庁を統合し本庁舎の建設も視野に入れて行きたいと言われたが、私も大賛成である。合併することによって行政改革で無駄が省け、また効率的な市政運営をしていくには本庁舎は一日も早く必要である。その時期についてお聞きしたい。

**A** (市長) 合併時は分庁方式でせざるを得なかった。将来的な行政効率を考えた場合、一ヶ所に集めたほうがよいと思うが、時間をかけて研究検討を重ねて決めていく。

**健全財政の維持について**  
**Q** 旧町村からの継続事業は各5町村事業計画を見ても膨大な金額になる。合併したからには全市のな視野で見直す事が健全財政の維持になるが見直しはするの。新規事業について実施前に事前評価するの

**A** (市長) 子育て支援は他に優先させる事項と考える。次世代育成支援行動計画に沿って進める。堀金保育園、児童館は全体的な観点で整合し建設準備をする。

**Q** (健康福祉部長) 堀金地域の児童館は保育園建設の計画との絡みで検討。堀金保育園は一園で建て替えるの線に沿って進める。

**Q** 安曇野の医療体制ネットワークを。豊科赤十字病院の建替え支援と改築は。また、同院産婦人科の存続で提案する。

**Q** 奨学金制度を「安曇野市、日赤病院、住民寄付者」の三者で設立し医師の確保を。安曇野市を挙げて広く人脈を生かした医師探しを。

**Q** 当面の緊急避難対策として、安曇野市と日赤の提携で産院施設の開設を。

**A** (市長) 日赤改築は最優先事項として取り上げ、検討委員会を上げて

**A** (市長) 継続事業については財政面も含めて、全市の観点でこれを見直していくことは欠かせない要件と思う。

**Q** (企画財政部長) 今までの検討を踏まえた上で、市の検討委員会の基準でやっていく。

**土地利用制度に  
関しての取り組みは**

**Q** 合併前の土地利用に関する合意事項は「新市発足後5年を目途に同一歩調に調整する」としているが田園都市を目指すなら、一日でも早く取り組まないといけないか。何時からどのような手順で取り組み、市民合意を得るのか。

**A** (市長) この事は極めて重大かつ基礎的な問題である。できるだけ早く住民の皆様方の関心

**Q** 必要な支援を積極的に進めたい。提案は検討する。

**A** (健康福祉部長) 産婦人科については病院との連携の中で市として最大限の努力をする。財政支援だけでなく、住民・市の要望を建設の方向に反映させる。

**Q** 介護保険の利用者負担軽減対策を。

**A** (市長) 予防事業と介護の地域予防・地域包括支援センターで行き届いた政策を。

**Q** (健康福祉部長) 支援センターは当面一か所、最低三か所となる。介護保険は委員会を立ち上げ検討。

**Q** 公共交通網と福祉交通との連携ネットワークをどう構築するか。

**A** (企画財政部長) 交通施策は福祉利用にもつなげ、トータルな形で委員会を立ち上げる。

を持っていただき、ある一定の方向で住民の合意形成を得ていくことが極めて基本的な作業で、豊科の方式と穂高の方式、これを主体にして、安曇野市あるいは独自の制度を構築せざるを得ないと思っている。現在の準備に入るよう指示を出している。

を待つていただき、ある一定の方向で住民の合意形成を得ていくことが極めて基本的な作業で、豊科の方式と穂高の方式、これを主体にして、安曇野市あるいは独自の制度を構築せざるを得ないと思っている。現在の準備に入るよう指示を出している。

穂高広域におけるごみ減量目標と減量施策をどのように進めていくのか。

**A** (市長) 平成17年度は一人一日100gの削減、平成22年には最終処分量50%削減の目標である。排出された処分物については、循環型社会を構築していくために資源として利用する方向で埋立てする量を減らしていく事が命題である。一般ごみで焼却されている生ごみの処理について、一部地域でモデル的に分別収集をし資源化の模索をしている。住民の皆さんと検討し全域的に拡げていきたい。

**Q** 穂高広域処理施設更新時期、予定地、施設内容、施設処理能力、予算規模についてどう考えているか。

**A** (市長) 耐用年数15年と言われているが、延命しながら使ってきている状況で、遅くとも平成25

**Q** 市民環境部長 旧三郷地域の廃棄物中間処理施設も必要になる。リサイクル支援のための中間処理施設も必要になる。

**Q** 三郷地域の廃棄物中間処理施設に対し、市としての対応はどう進めるか。

**A** (市民環境部長) 旧三郷村訴訟は基本姿勢として新市に受け継ぐ。提訴は2件で農業振興地域整備計画変更申請の審議保留と給水装置申請に対する保留である。県が産業廃棄物処理施設事業計画書と一般廃棄物処理施設設置計画書の承認取消しをしている。第一回口頭弁論が11月14日、次回は12月28日に行なわれるので弁護士と相談しながら対応していく。



### 廃棄物処理施策推進の基本姿勢は 青柳 圭 二 議員

行政改革の  
具体的施策は

**Q** 行政改革推進計画はどのように進めていくのか。

**A** (市長) 総務省から地方公共団体における行政改革の指針が示されている。地方分権時代に対応できる効率的な行政運営を図ることが課題である。早期に安曇野市行政改革大綱を策定し、年次目標となる実施計画を定めるが、総務省の集中改革プランを公表し、市における行政改革、集中改革プラン策定における基本的な考え方、取り組み計画について総務部行政改革推進室を中心に策定準備に入っている。また行政運営においても目標管理型人事考課制度を導入していく。

**Q** 指定管理者制度について、総務所長に権限を移譲する必要があると思うがどうか。

**A** (市長) 今後時間をかけて総務所長というものの役割については逐次見直ししていきたい。

**Q** 指定管理者制度について、総務所長に権限を移譲する必要があると思うがどうか。

**A** (市長) 今後時間をかけて総務所長というものの役割については逐次見直ししていきたい。

**Q** 指定管理者制度について、総務所長に権限を移譲する必要があると思うがどうか。

**A** (市長) 今後時間をかけて総務所長というものの役割については逐次見直ししていきたい。



### 「だれもが暮らしやすいまちづくり」の提案 吉田 満 男 議員

私は誰もが暮らしやすいまちづくり、田園都市づくりについて、障害の有無や年齢等にかかわらず、全ての人が利用しやすい都市環境や製品づくり、サービス、さらには社会の仕組みづくり、また人に対する思いやりの心も取り入れた「ユニバーサルデザインのまちづくり」を提案したい。

**Q** (市長) 安曇野市において、平成18年度から二カ年かけて策定する予定である総合計画のなかで、ユニバーサルデザインのまちづくりという理念を積極的に取り入れていくかと思っている。

**A** (市長) 優先すべき事項だろうと思っながら、全市的に検討を加えながら、一度にということではなく、順を追ってやっていくのを得ない。

**Q** 当地は日本の中でも大変色々な面で恵まれた地域である。文化、芸術、スポーツの分野での市民交流、そして地域おこしの方法としては、合併一周年記念の芸術分野等のイベントの開催の考えがあるかどうか。地域風土として、この文化、芸術というものは、時を経ても消耗することなく、地域の富、財産として蓄えられてゆくものであるから、安曇野市政には必要不可欠と思うが、いかがか。

**A** (市長) NPOや、さまざまな住民主体の存在というものが大切なわけである。公的、公的サービスは、行政ではなく、さまざまな主体に担っていただく。

**Q** 新しい公共空間の整備のなかでこの制度は一つの手法である。

**A** (市長) 今後時間をかけて総務所長というものの役割については逐次見直ししていきたい。

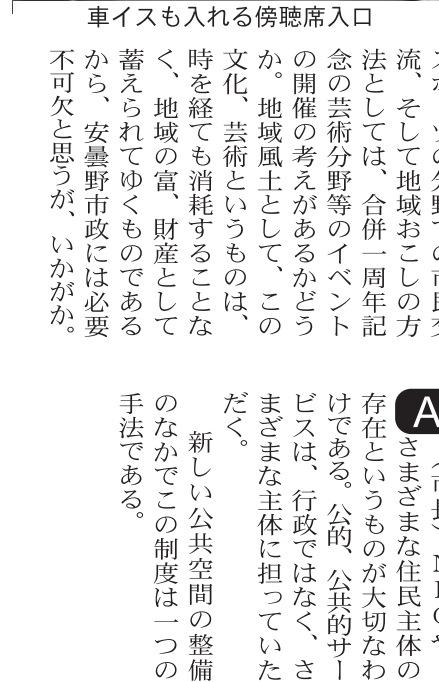
**Q** 指定管理者制度について、総務所長に権限を移譲する必要があると思うがどうか。

**A** (市長) 今後時間をかけて総務所長というものの役割については逐次見直ししていきたい。



堀金図書館

一部市が借りている県安曇野庁舎



車イスも入れる傍聴席入口